

大好き！絵本

初瀬 恵美



『あいうえおの き
ちからを あわせた
もじたちの はなし』
作・絵: レオ=レオ二
出版社: 好学社

3月に入り、年長さんはもうすぐ卒園となりました。新型コロナウイルスの感染の収束が見えず、熊本市からの登園自粛要請が続く中、保育園で友達と、楽しく過ごすことができる時間の大切さを痛感しています。また、国際的にはロシアがウクライナに軍事侵攻し、戦闘により、多くの人の命や大切なモノが失われている現状があります。

今月は絵本を通して「力を合わせる事」「自分の頭で本当に大事な事を考える事」の大切さをメッセージとして贈りたいと思います。

何年前、「あいうえおの木」では、文字たちがひなたぼっこをしたり、春のそよ風にふかれ、楽しく暮らしていました。

しかし、ある日嵐がきて、いくつかの文字は吹き飛ばされてしまいました。残った文字たちも、すっかりおびえてしげみの奥深くにかたまっていました。それを見つけたのが「ことばむし」です。「ことばむし」は、文字たちに、どんな風にも吹き飛ばされないように、幾つかずつ並んで、手をつないで言葉を作ることを教えました。そのおかげで、文字たちは風が吹いてもこわくなくなりました。

次にであったのが、「紫色の毛虫」です。毛虫は、「文」をつくることを提案します。「文」を作ることにより、話ができることを、文字たちは知っていきます。しかし、毛虫はただの文章だけでなく「なにか だいじな ことを いわなきゃ だめだ」と言いました。そこで文字たちは一生懸命「だいじなこと ほんとうに だいじな ことは なにか」を考えました。

文字たちがつづった文章は・・・そして、そのあとにとった毛虫の行動は・・・。とてもとても大切なことが、書かれています。

さて、この絵本を年中さんの子と一緒に読んでいました。その子は絵本の中にでてくる「だいじなこと ほんとうに だいじな ことは なにか」という文を私が読んだ時、「あのね、妹がとっても大切だから、大事にしたいの。」と、とても真剣に語ってくれました。年長さんからは「生きる事」「おもいで」というワードも聞かれ、どれも本当に大事な事だなと思いました。子どもたちの心の中にあるそれぞれの「だいじなこと」が大事にできる平和な世の中でありますように・・・。また飢えや飢餓で苦しむことがなくなる世の中になりますように・・・と願うばかりです。

誕生日おめでとう

